

公益社団法人 神奈川県鍼灸師会

令和4年度第7回理事会(令和5年3月5日)

議 事 録

【日時】令和5年3月5日(日) 19:30~21:10

【会場】WEB 理事会 (WEB 会議アプリケーション Zoom 使用)

定刻に役員14名のWEB参加(会議アプリケーション Zoom 使用)およびWEB出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、本会議は成立したことを議長清水が宣言した。

【次第】1、出席確認 2、議長選任 3、議事 4、議事録署名人選任 5、閉会の辞

【出席14名】理事：清水(慎)、草山、藤田、清水(克)、大屋、平岡、秋澤、長野、橋口、高橋、三田

監事：日野、森下、窪田

【議長】理事：清水(慎) 【書記】草山、三田

【議事録署名人】清水(慎)、森下、日野、窪田

【議題】

〔I〕報告事項

1. 入退会の報告(2023年1月29日以降、3月4日まで)

入会者 無し

退会者 3名

正会員 (永江学、金子宗明、趙雪光)

令和5年3月5日現在の会員数235名 (正会員219名、学生会員16名)

現在審議中 0名

2. みなし決議案

特になし。

3. 会務報告(業務執行理事報告)

(1) 第6回業務執行理事会(2/15)

草山副会長より、本日議事に上がっている事項について話合いがあったとの報告があった。令和5年7月16日に(公社)日本鍼灸師会関東甲信越ブロック会議が開催予定であるとの報告があった。清水会長より、各部での問題点を話し合うことを考えているとの説明があった。藤田副会長より、時期的に宿泊予約が難しいので早めに各県師会に周知する必要があることと、長野や新潟などは負担があるのでWEB参加も視野にいかせてはどうかとの意見があった。

また、令和5年2月3日に(公社)日本鍼灸師会代議員選挙の公示が行われ、神奈川県師会選挙区の代議員定数4名に対して清水、草山、藤田、大屋の立候補があり、補欠代議員定数4名に対して清水(克)の立候補があり、選挙なしで代議員及び補欠代議員になったとの報告があった。神奈川県鍼灸師会の会員数が250名以下となったので代議員定数が5名から4名になったとの報告があった。

令和5年9月3日に当会75周年事業を当会内のみで開催する予定であるとの報告があった。

4. 各部報告

(1) 総務部・IT委員会：

①神鍼会新HPドメイン(.or.jp→.com)見直し

高橋 IT 委員会委員長より、HP「harikyu-kaganagawa.or.jp」、メール「kanagawa-harikyu.or.jp」の新ドメイン名の取得を考えていたが、「.or.jp」ドメインは1組織につき1ドメインのみ取得できないことが判明したために、HP「harikyu-kaganagawa.or.jp」が使用できないとの報告があった。そのため、HP「harikyu-kaganagawa.com」、メール「kanagawa-harikyu.or.jp」で進めていくとの報告があった。

平岡理事より、「.com」だと企業のイメージがあるので非営利団体向けの「.org」の取得を考えるのはどうかとの意見があがった。高橋理事と平岡理事で協議して、理事 ML に報告することになった。

②令和5年2月12日事務所の掃除について

草山総務部長より、2月12日の事務所の掃除について、100kgほどの書類の処分を行ったとの報告があった。ロッカーなどを入れることを考えているとの説明があった。

清水会長より、更衣室のロッカーを提供できるとの提案があった。ロッカーの写真を草山総務部長に送付することとなった。

(2) 財務部：

①予算案集計

清水(克)財務部長より、令和5年度の予算案の集計の報告があった。3月12日までにみなし決議を理事MLにてあげ、3月中に神奈川県に提出する予定であるとの説明があった。残業代、事務局電気代、75周年事業が懸案事項となるとの説明があった。

藤田副会長より、備品購入費として5万円が総務部に計上されている、学生委員会の予算は組織共済部に計上されているとの補足があり、また公益比率はどうかとの質問があがった。

(3) 組織共済部：

①業団説明会の中間報告

清水(克)理事より、清水(克)理事が2月28日に日本工学院八王子専門学校、秋澤理事が2月28日に呉竹鍼灸柔整専門学校と3月1日に湘南医療福祉専門学校、橋口理事が3月2日にアルファ医療福祉専門学校と3月9日予定で横浜医療専門学校にて、業団説明会を行ったとの報告があった。神奈川衛生学園専門学校については動画配信を希望されたが期日に間に合わず、後日視聴していただくことになったとの報告があった。

②井邊貴広先生(青龍堂)の賠償責任保険について

長野組織共済部長より、井邊貴広先生(青龍堂)の賠償責任保険について2月21日に事務局にて対応を行ったとの報告があった。奥様から昨年9月に井邊貴広先生が膀胱癌にて逝去されたとの連絡があり、慶弔規程に基づいて事務局に対応を依頼したとの報告があった。

(4) 学術部：

大屋学術部長より、2月19日に令和4年度第4回学術講習会を開催したとの報告があった。来年度も学術講習会4回、イブニングセミナー4回、新人研修を予定しているとの説明があった。また、(公社)日本鍼灸師会 関東甲信越ブロック共催の学術講習会の担当が長野県になりそうだと報告があり、学術部の会議を(公社)日本鍼灸師会関東甲信越ブロック共催の学術講習会もしくは(公社)日本鍼灸師会関東甲信越ブロック会議にて行うのか検討するとの説明があった。

(5) 広報部：

平岡広報副部長より、広報誌を作成中であるとの報告があった。

(6) 普及部：

秋澤普及部長より、令和5年2月12日神奈川県スポーツ局スポーツ課主催のかながわ駅伝は路面凍結のため中止となったとの報告があった。(株)山正やセイリン(株)からの100名分の協賛品について、秋澤普及部長が保管しており今後の普及活動に使用予定であると(株)山正やセイリン(株)より承諾を得ているとの報告があった。

(7) 保険部：

橋口保険部長より、毎月の保健部指導会を実施したこと、3月26日に令和4年度第2回保険取扱い初心者講習会を行う予定であるとの報告があった。清水(克)理事より、アルファ医療福祉専門学校の学生2～3名から保険取扱い初心者講習会への参加申込があったとの報告があった。

(8) 危機管理委員会：

長野危機管理委員長より、3月18・19日の第14回JIMTEF災害医療研修アドバンスコース関東開催があり、長野危機管理委員長が参加予定であるとの報告があった。

また、救急法の基礎講習だけではなく養成講習の開催を希望するのか会員向けにメールにてアンケート調査を行い、4名から回答があり3名が参加したいとの回答があったとの報告があった。

大屋副会長より、危機管理委員会メールにてアンケートメールを行わないほうがよいのではとの意見があがった。

(9) 学生委員会：

大屋副会長より、卒業予定の5名の学生会員に正会員への移行案内を事務局から手配してもらうとの報告があった。来年度の予算案として学生会員の集いを企画しているとの報告があった。

5. その他

①社会保険労務士との面談について

草山副会長より、就業規則作成のため社会保険労務士との面談を行ったとの報告があった。育児休業規則や介護休業規則、ハラスメント防止規則を含めているとの説明があった。費用が15万円とのことで財務部より高いとの意見があった。

清水会長及び大屋副会長が知人の社会保険労務士に相談してみるようになった。

②専門学校卒業式の出席について

3月15日神奈川衛生学園専門学校の卒業式に清水会長が出席し、3月15日呉竹鍼灸柔整専門学校の卒業式に草山副会長が出席することになった。

③次期の活動の課題や重点について（企業の健康経営）

清水会長より、厚生労働省だけに目を向けるのではなく経済産業省が平成28年度に「健康経営優良法人認定制度」を創設しており、企業の健康経営を後押ししており、当会としてアプローチしていく必要があるとの意見があがった。

④令和5年7月16日（公社）日本鍼灸師会関東甲信越ブロック会議について

清水会長より、千葉県と茨城県より「鍼灸師会の活性化と会員増強」について会議を行いたいとの報告があり、その方向で検討したいとの説明があった。

⑤業者による感染対策商品を当会に紹介希望の申し出について（日野監事）

日野監事より、2月8日から10日に開催された「CareShowJapan2023 未病産業展」において日本鍼灸師会のブースに訪問した業者（株）NSF エンゲージメントが感染対策商品を当会に紹介希望の申し出があったとの報告があった。業者には日本鍼灸師会の広報にまず問い合わせを行うように打診したとの報告があった。

〔Ⅱ〕審議事項

（１）総務部：

特になし。

（２）財務部：

特になし。

（３）組織共済部：

①組織共済部長交代の件

清水会長より、組織共済部の動きが遅くなってしまう懸念があることと、長野理事には次期選挙にて当会との窓口である自民党県会議員の牧島功氏から田中洋次郎氏に後継されるのでかながわ鍼灸マッサージ推進協議会での働き及び危機管理委員会での働きをしっかりと行っていたきたいので、藤田理事に部長交代をしたほうがよいとの提案があった。本理事会当日より組織共済部長を長野理事から藤田理事に交代するという審議を行い、全会一致で承認した。

藤田新組織共済部長より、部員の見直し及び増強を行っていくとの説明があった。

（４）学術部：

特になし。

（５）広報部：

特になし。

（６）普及部：

特になし。

（７）保険部：

特になし。

（８）危機管理委員会：

特になし。

（９）学生委員会：

特になし。

（１０）その他：

①会員証変更案の件

藤田副会長より、別紙提案書の通り、過去では携帯型の会員証カードが望ましいと考えていたが、現在はその必要性がない現状や管理面より、証書型（B5 サイズ程度）の会員証（3年毎発行から単年毎発行）への変更の提案があった。単年毎発行にする理由として辞めてしまう会員がいるため在籍の有無を示せるとの説明があり、定時総会の資料と同時に送付すれば郵送費も必要ないとの説明があった。当会事務局で印刷するにあたり労力は発生するものの、差し込み印刷にて煩雑な業務はなく、単純作業で作成可能であり、負担は少ないものと考えたとの説明があり、コスト面について大差はないとの説明があった。

また、5年在籍、10年在籍の会員に対して、証書型で表彰を行うようにし、周年事業で表彰を行えばよいとの提案があった。

草山副会長より、5年在籍、10年在籍などで表彰状の用紙の色を変えるとよいとの意見があがった。清水会長より、記念品を贈呈するとよいとの意見があがった。清水（克）理事より、現状5年及び10年以上在籍している会員に表彰状を送付したほうがよいのかとの質問があがった。藤田副会長より、どれくらいの会員が該当するのか調査して2年に分けて表彰する方法もしくは75周年事業にて表彰する方法があるとの回答があった。清水（克）理事より、会員番号がダブっている可能性があるので調査を行ったほうがよいとの意見があがった。

キューアイマネージ依頼の3年毎発行の携帯型会員証カードから事務局作成の単年毎発行の証書型の会員証に変更するという審議を行い、全会一致で承認した。

〔Ⅲ〕その他

①総会までの行程表の件

日時：令和5年6月25日（日）

場所：事務所 もしくは 中区社会福祉協議会の研修室

方法：対面及びZOOMのハイブリット開催

その他：令和5年6月9日～11日にて（公社）全日本鍼灸学会の学術大会
令和5年6月18日（日）に（公社）日本鍼灸師会代議員総会

総会までの流れ

3月の理事会もしくはみなし決議にて令和5年度事業計画（案）・予算（案）の承認

3月中に令和5年度事業計画の神奈川県への提出

4月28日を目標に5月8日までに令和4年度決算書の作成

5月連休明け令和4年度決算書の監査

5月23～25日の期間で会員への定時総会の送付

6月2日ぐらいまでに会員からの委任状の返送締切

6月末までに神奈川県への令和4年度決算書及び定時総会議事録の提出

中区社会福祉協議会の研修室にてインターネットができるか確認することになった。

以上、21：10をもって令和4年度第7回理事会が終了した事を議長清水が宣言し、閉会となった。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事および監事は記名押印する。

令和5年3月5日

代表理事

清水 慎司

監 事

森 下 元

監 事

日 野 博

監 事

窪 田 勤